資料３-１

地域医療構想の進捗状況について

1　病院及び有床診療所における具体的対応方針の策定について

岩手県

＜国の通知＞

○　「地域医療構想の進め方について」（平成30年２月７日付け医政地発0207第１号厚生労働省医政局地域医療計画課長通知）で、都道府県は、毎年度、地域医療構想調整会議において合意した以下２点の内容を含む具体的対応方針をとりまとめることとされている。

① 2025年を見据えた構想区域において担うべき医療機関としての役割

② 2025年に持つべき医療機能ごとの病床数

○　「地域医療構想の進め方について」（令和４年３月24日付け医政発0324第６号厚生労働省医政局長通知）で、令和４年度及び令和５年度において、地域医療構想に係る民間医療機関も含めた各医療機関の対応方針の策定や検証・見直しを行うこととされている。

＜対応状況＞

○　病院及び有床診療所の具体的対応方針は、令和６年３月末までに各医療機関で策定の上、地域医療構想調整会議で協議済み。

○　都道府県では、毎年度、具体的対応方針のとりまとめを行う必要があることから、**各医療機関において必要に応じて具体的対応方針を更新**し、**令和７年３月末までに開催する地域医療構想調整会議において協議を実施**。

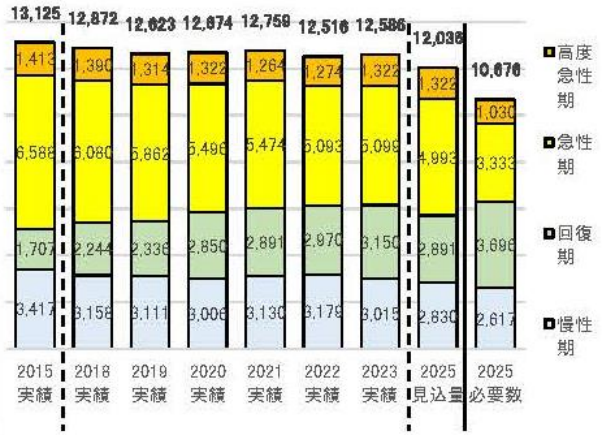
＜岩手県全体の機能別病床数の推移＞

○基礎情報

都道府県	3　岩手県
2020国勢調査人口	121.1万人
2020面積	15,275km²

○病床数の状況

	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年			2025年		
	2015 実績	2025年必要数に対する比	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 実績	2015年に対する比	2015年との差	2025 見込量	2025 必要数	見込み／必要数
合計	13,125	123%	12,872	12,623	12,674	12,759	12,516	12,586	96%	▲539	12,036	10,676	113%
高度急性期	1,413	137%	1,390	1,314	1,322	1,264	1,274	1,322	94%	▲91	1,322	1,030	128%
急性期	6,588	198%	6,080	5,862	5,496	5,474	5,093	5,099	77%	▲1489	4,993	3,333	150%
回復期	1,707	46%	2,244	2,336	2,850	2,891	2,970	3,150	185%	+1443	2,891	3,696	78%
慢性期	3,417	131%	3,158	3,111	3,006	3,130	3,179	3,015	88%	▲402	2,830	2,617	108%
（報告率）	93.9%		97.6%	95.7%	99.4%	98.1%	100.0%	99.3%					



2　病床機能の再編について

岩手県

1　概要等

○　国においては、地域医療構想実現を図る観点から、地域医療構想調整会議等の合意を踏まえて医療機関が行う自主的な病床削減に取り組む際の財政支援を実施。（R3年度から、医療機関が行う病床削減等について給付金を支給する事業）

○　具体には、地域医療構想調整会議の議論及び医療審議会での意見を踏まえ都道府県知事が認めた計画が支給対象。

2　削減予定医療機関

○　今年度は、３医療機関（平舘クリニック、県立江刺病院及び県立千厩病院）で病床削減を実施。

○　来年度は、２医療機関（赤坂病院、遠山病院）で病床削減を実施予定。

○　このほか、１医療機関（ふるだて加藤肛門外科クリニック）は、既に病床削減済み。

○　それぞれ、盛岡構想区域（R6.8.28開催及びR7.2.18開催）、胆江構想区域（R7.1.28開催）、両磐構想区域（R7.2.4開催）の地域医療構想調整会議で了承されている。

①平舘クリニック

病床機能	再編前の病床数		再編後の病床数(B)	削減数(B-A)
	許可	稼働(A)		R６削減予定
高度急性期				
急性期	19	19	0	▲19
慢性期				
回復期				
合計	19	19	0	▲19

・令和６年４月に無床診療所化
・支給対象は急性期病床の削減数19床分

②県立江刺病院

病床機能	再編前の病床数		再編後の病床数(B)	削減数(B-A)
	許可	稼働(A)		R６削減予定
高度急性期				
急性期	118	118	0	▲118
慢性期				
回復期			60	60
合計	118	118	60	▲58

・急性期病床を令和６年度に削減予定
・うち60床を回復期病床に転換
・支給対象は急性期病床の削減数58床分

③県立千厩病院

病床機能	再編前の病床数		再編後の病床数(B)	削減数(B-A)
	許可	稼働(A)		R６削減予定
高度急性期				
急性期	113	113	60	▲53
慢性期				
回復期	35	35	56	21
合計	148	148	116	▲32

・平成30年度から病床機能を再編
・令和６年度に病床を削減予定
・支給対象は急性期病床の削減数32床分

2　病床機能の再編について

岩手県

④赤坂病院

病床機能	再編前の病床数		再編後の病床数(B)	削減数(B-A)
	許可	稼働(A)		R６削減予定
高度急性期				
急性期	20	20	19	▲1
慢性期				
回復期				
合計	20	20	19	▲1

・急性期病床を令和７年度に削減予定
・有床診療所化
・支給対象は急性期病床の削減数1床分

⑤遠山病院

病床機能	再編前の病床数		再編後の病床数(B)	削減数(B-A)
	許可	稼働(A)		R６削減予定
高度急性期				
急性期	34	34	15	▲19
慢性期	102	102		▲102
回復期			45	45
介護医療院へ転換				66
合計	136	136	60	▲10

・急性期・慢性期病床を令和７年度に削減予定
・令和３年度に慢性期病床66床を介護医療院へ転換
・支給対象は削減病床数から介護医療院への転換分を除く10床分

⑥ふるだて加藤肛門外科クリニック

病床機能	再編前の病床数		再編後の病床数(B)	削減数(B-A)
	許可	稼働(A)		R６削減予定
高度急性期				
急性期	13	13	8	▲5
慢性期				
回復期				
合計	13	13	8	▲5

・令和３年度に病床を削減
・支給対象は急性期病床の削減数5床分

【参考】これまでの病床機能の再編状況について

岩手県

① 病床再編の状況（再編支援給付金実績）

年度	医療機関	再編前		再編後		備考
令和２年度	国保藤沢病院	急性期	54床	急性期	0床	▲10床
		回復期	0床	回復期	44床	
	美山病院	慢性期	209床	慢性期	172床	▲37床
	北上済生会病院	急性期	204床	急性期	160床	▲28床
		回復期	44床	回復期	60床	
令和５年度	盛岡赤十字病院	急性期	364床	急性期	324床	▲40床
	ちあき眼科クリニック	急性期	1床	急性期	0床	▲1床
	赤坂病院	急性期	27床	急性期	20床	▲7床
	県立釜石病院	急性期	272床	急性期	180床	▲92床
	ひがしやま病院	急性期	44床	急性期	0床	▲44床

② 病床機能ごとの病床数の推移（H27～の病床機能報告による）

病床機能	地域医療構想による必要病床数	平成27年度(報告初年度)	令和５年度(最新)	報告開始以降の病床数の増減
高度急性期	1,030床	1,413床	1,322床	▲91床
急性期	3,333床	7,002床	5,099床	▲1,903床
回復期	3,696床	1,707床	3,150床	1,443床
慢性期	2,617床	3,439床	3,015床	▲424床
休　棟	0床	725床	696床	▲29床
合　計	10,676床	14,286床	13,282床	▲1,004床

3　紹介受診重点医療機関の指定について

＜紹介受診重点医療機関とは？＞

○　外来機能の明確化・連携を強化し、患者の流れの円滑化を図るために新たに位置付けられた医療機関の類型。

○　患者は、まず地域の「**かかりつけ医機能を担う医療機関**」を受診し、必要に応じて**紹介を受けて紹介受診重点医療機関を受診**。状態が落ち着いたら逆紹介を受けて、地域に戻る受診の流れを明確化する。

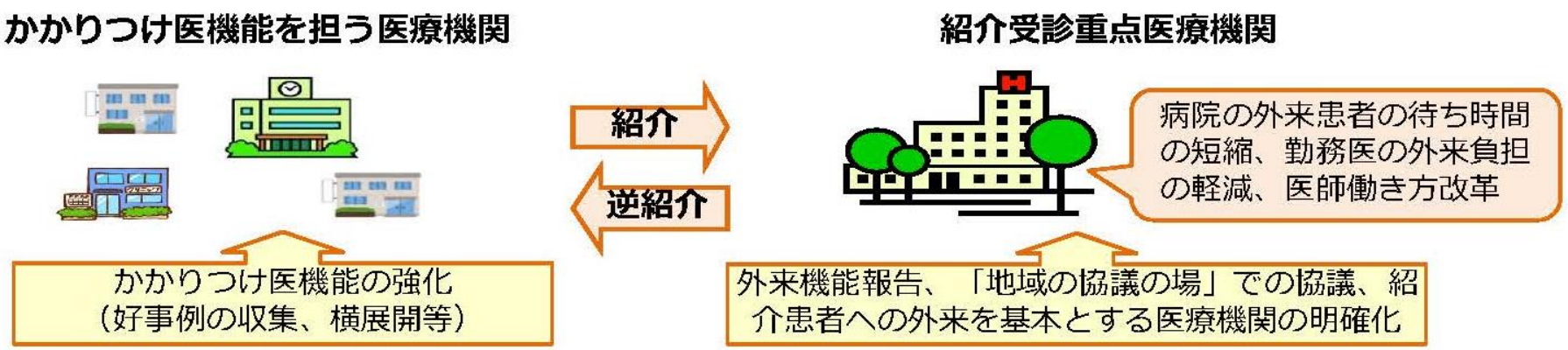
○　患者の流れがより円滑になることで、**病院の外来患者の待ち時間の短縮**や**勤務医の外来負担の軽減**、**医師働き方改革**に寄与することが期待される。

＜紹介受診重点医療機関の特徴＞

○　患者が紹介状を持参しないで紹介受診重点医療機関（一般病床200床以上に限る。）を受診した場合、特定機能病院や地域医療支援病院と同様に、患者から「特別の料金」（初診の場合7,000円以上）を徴収。

○　患者が紹介受診重点医療機関（一般病床200床以上に限る。）に入院した場合、「紹介受診重点医療機関入院診療加算」として、入院初日に限り診療報酬800点を加算。

○　紹介受診重点医療機関において、地域の診療所等から紹介された患者の診療情報を地域の診療所等に提供した場合、「連携強化診療情報提供料」として、診療報酬150点を加算。



3　紹介受診重点医療機関の指定について

＜対応状況＞

○　国の外来機能報告の結果及び各医療機関の意向に基づき、地域医療構想調整会議で協議を実施。

○　協議の結果、県ホームページで**９医療機関を紹介受診重点医療機関として公表**。

＜今後の対応＞

○　紹介受診重点医療機関は、医療機関の意向や基準の充足状況が前年度と変わらない場合であっても、毎年度協議の場で議論する必要があることから、外来機能報告の結果をもとに地域医療構想調整会議において協議予定。

＜紹介受診重点医療機関（令和７年３月１日現在）＞

構想区域	医療機関名	一般病床数	公表日	備　考
盛岡	社団医療法人啓愛会孝仁病院	126床	R5.9.1	
	岩手医科大学附属病院	932床	R5.9.1	特定機能病院
	岩手県立中央病院	685床	R5.9.1	地域医療支援病院
	盛岡赤十字病院	354床	R6.1.1	地域医療支援病院
岩手中部	岩手県立中部病院	414床	R5.9.1	地域医療支援病院
	社会福祉法人恩賜財団済生会北上済生会病院	220床	R6.3.1	
胆江	岩手県立胆沢病院	337床	R5.10.1	地域医療支援病院
両磐	岩手県立磐井病院	305床	R5.9.1	地域医療支援病院
宮古	岩手県立宮古病院	320床	R5.10.1	地域医療支援病院

4　公立病院経営強化ガイドラインへの対応について

岩手県

＜国の通知＞

○　「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」（令和４年３月29日付け総財準第72号総務省自治財政局長通知別添）において、経営強化プランを令和４年度又は令和５年度中に策定することとされている。

＜対応状況＞

○　地域医療構想調整会議で協議の上、県立病院については管理者である県医療局において、市町立病院については管理者である市町において、令和５年度末までにプラン策定済み。

○　医療局では、今年度、地域医療構想調整会議で協議の上、経営強化プランの改定を行ったもの。

※　県医療局では「岩手県立病院等の経営計画」を経営強化プランに位置付けており、令和６年度は次期経営計画の策定年度であったことから、次期経営計画の策定に伴い、経営強化プランを「改定」する形になったもの。

＜今後の対応＞

○　関係地方公共団体は、経営強化プランの実施状況について概ね年１回以上点検・評価・公表を行うこととなっているほか、プラン策定後に地域医療構想等との齟齬が生じた場合などには改定を行うこととなっていることから、地域医療構想と経営強化プランの整合性について適宜確認を行っていく。

＜プランの策定対象＞

地方公共団体名	医療機関名	プラン名
岩手県	県立病院（20病院）	岩手県立病院等の経営計画（2025-2030）
盛岡市	盛岡市立病院	盛岡市立病院経営強化プラン
八幡平市	八幡平市立病院	八幡平市立病院経営強化プラン
葛巻町	国民健康保険葛巻病院	国民健康保険葛巻病院経営強化プラン
西和賀町	町立西和賀さわうち病院	町立西和賀さわうち病院経営強化プラン
奥州市	国民健康保険まごころ病院 奥州市総合水沢病院	奥州市立病院・診療所経営強化プラン
一関市	国民健康保険藤沢病院	一関市病院事業経営強化プラン
洋野町	国民健康保険種市病院	国保種市病院経営強化プラン

5　推進区域の設定について（両磐構想区域）

岩手県

＜概要＞

○　「2025年に向けた地域医療構想の進め方について」（令和６年３月28日付け医政発0328第３号厚生労働省医政局長通知）で、**令和６年度からの新たな取組**として、病床機能報告上の病床数と必要量の差異等を踏まえて**国が推進区域及びモデル推進区域を設定**することが示されたところ。
（地域医療構想で定めている令和７年の必要病床数に近づける取組を強化する区域を設定するもの。）

○　「地域医療構想における推進区域及びモデル推進区域の設定等について」（令和６年７月31日付け医政発0731第１号厚生労働省医政局長通知）により、国が推進区域及びモデル推進区域を設定し、**岩手県では推進区域として両磐構想区域が設定された**もの。

＜設定の内容＞

	推進区域	モデル推進区域
全国の設定数	各都道府県１～２か所程度	推進区域のうち、全国14か所
設定の考え方	令和７年の必要病床数との差異が特に生じている区域等	推進区域のうち、特に国による重点的な支援の必要性が考えられる区域
取組内容	当該推進区域において設定している機能別の必要病床数に近づけるための取組等を定める**区域対応方針**を令和６年度中に策定、令和７年度に取組を実施	推進区域の取組に加え、国によるデータ分析等の技術的支援及び国庫補助金の優先的配分等による財政的支援の実施 （国によるアウトリーチの伴走支援）
岩手県	両磐構想区域	該当なし
設定の理由	岩手県内で急性期病床数が最も過剰である両磐構想区域を設定するもの(※)	―

※ 令和４年度病床機能報告の結果

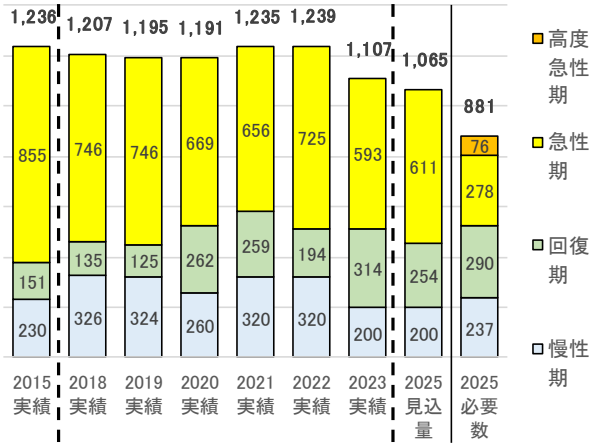
【参考】病床機能報告上の病床数及び地域医療構想における2025年の必要病床数

出典：厚生労働省「地域医療構想」https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000080850.html

【両磐構想区域】

（一般病床患者流出入）
（▲4.7%）

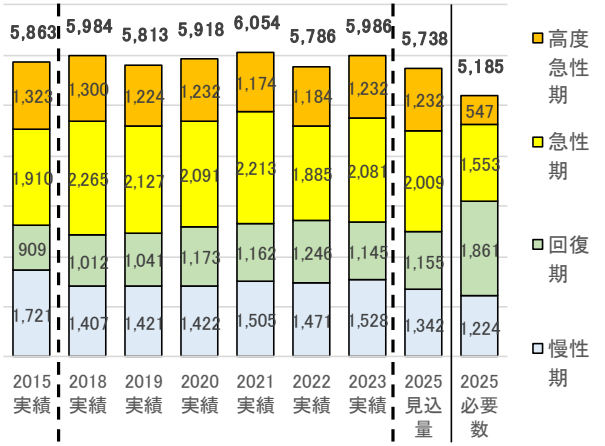
	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年			2025年		
	2015 実績	2025年必要数に対する比	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 実績	2015年に対する比	2015年との差	2025 見込量	2025 必要数	見込み／必要数
合計	1,236	140%	1,207	1,195	1,191	1,235	1,239	1,107	90%	▲129	1,065	881	121%
高度急性期		0%	0	0	0	0	0		–	–		76	0%
急性期	855	308%	746	746	669	656	725	593	69%	▲262	611	278	220%
回復期	151	52%	135	125	262	259	194	314	208%	+163	254	290	88%
慢性期	230	97%	326	324	260	320	320	200	87%	▲30	200	237	84%
（報告率）	93.8%		100.0%	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					



【盛岡構想区域】

（一般病床患者流出入）
（+23.9%）

	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年			2025年		
	2015 実績	2025年必要数に対する比	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 実績	2015年に対する比	2015年との差	2025 見込量	2025 必要数	見込み／必要数
合計	5,863	113%	5,984	5,813	5,918	6,054	5,786	5,986	102%	+123	5,738	5,185	111%
高度急性期	1,323	242%	1,300	1,224	1,232	1,174	1,184	1,232	93%	▲91	1,232	547	225%
急性期	1,910	123%	2,265	2,127	2,091	2,213	1,885	2,081	109%	+171	2,009	1,553	129%
回復期	909	49%	1,012	1,041	1,173	1,162	1,246	1,145	126%	+236	1,155	1,861	62%
慢性期	1,721	141%	1,407	1,421	1,422	1,505	1,471	1,528	89%	▲193	1,342	1,224	110%
（報告率）	94.7%		100.0%	95.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					

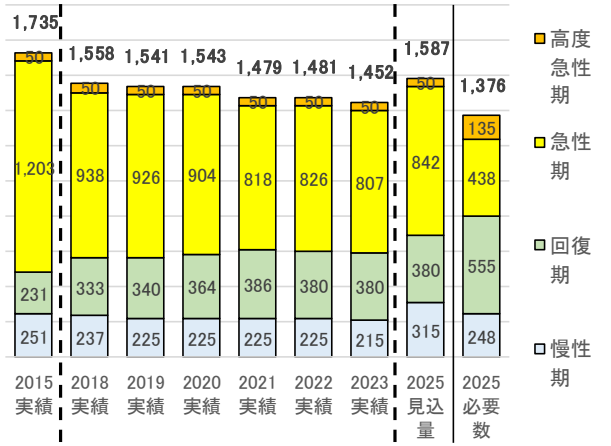


岩手県

【岩手中部構想区域】

（一般病床患者流出入）
（▲9.4%）

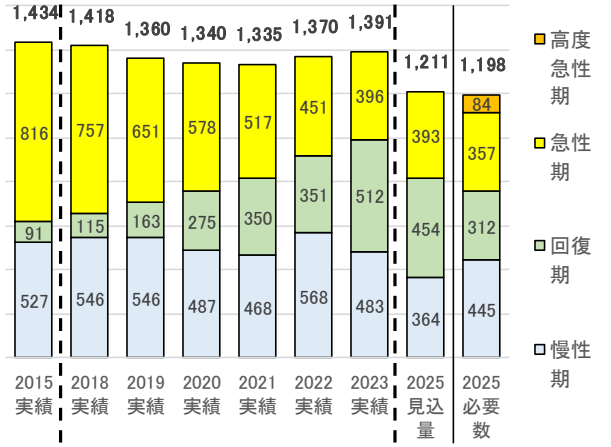
	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年			2025年		
	2015 実績	2025年必要数に対する比	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 実績	2015年に対する比	2015年との差	2025 見込量	2025 必要数	見込み／必要数
合計	1,735	126%	1,558	1,541	1,543	1,479	1,481	1,452	84%	▲283	1,587	1,376	115%
高度急性期	50	37%	50	50	50	50	50	50	100%	－	50	135	37%
急性期	1,203	275%	938	926	904	818	826	807	67%	▲396	842	438	192%
回復期	231	42%	333	340	364	386	380	380	165%	+149	380	555	68%
慢性期	251	101%	237	225	225	225	225	215	86%	▲36	315	248	127%
（報告率）	92.9%		91.7%	90.9%	95.0%	95.2%	100.0%	100.0%					



【胆江構想区域】

（一般病床患者流出入）
（▲11.0%）

	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年			2025年		
	2015 実績	2025年必要数に対する比	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2021 実績	2022 実績	2023 実績	2015年に対する比	2015年との差	2025 見込量	2025 必要数	見込み／必要数
合計	1,434	120%	1,418	1,360	1,340	1,335	1,370	1,391	97%	▲43	1,211	1,198	101%
高度急性期		0%	0	0	0	0	0		－	－		84	0%
急性期	816	229%	757	651	578	517	451	396	49%	▲420	393	357	110%
回復期	91	29%	115	163	275	350	351	512	563%	+421	454	312	146%
慢性期	527	118%	546	546	487	468	568	483	92%	▲44	364	445	82%
（報告率）	95.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					

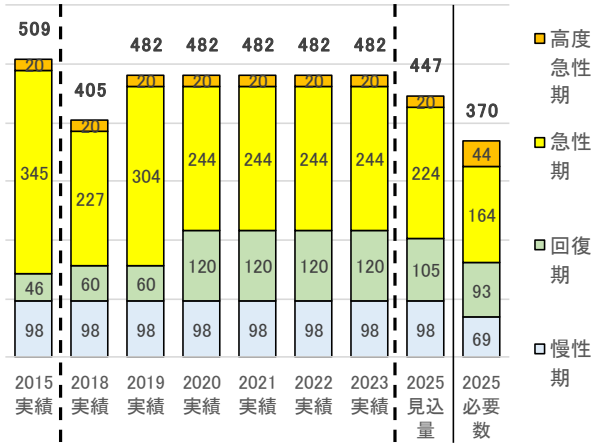


【参考】病床機能報告上の病床数及び地域医療構想における2025年の必要病床数

【気仙構想区域】

（一般病床患者流出入）
（▲33.2%）

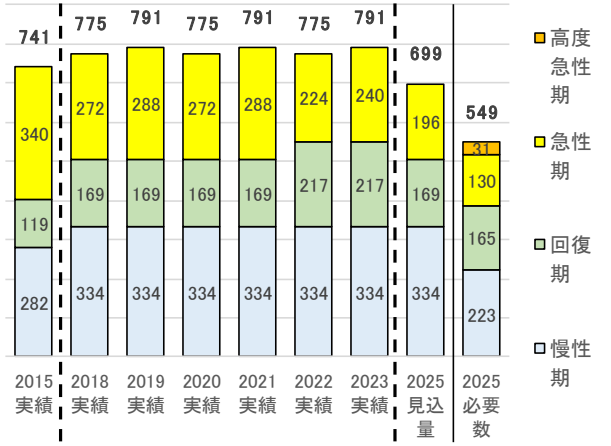
	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年			2025年		
	2015実績	2025年必要数に対する比	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2023実績	2015年に対する比	2015年との差	2025見込量	2025必要数	見込み／必要数
合計	509	138%	405	482	482	482	482	482	95%	▲27	447	370	121%
高度急性期	20	45%	20	20	20	20	20	20	100%	－	20	44	45%
急性期	345	210%	227	304	244	244	244	244	71%	▲101	224	164	137%
回復期	46	49%	60	60	120	120	120	120	261%	+74	105	93	113%
慢性期	98	142%	98	98	98	98	98	98	100%	－	98	69	142%
（報告率）	87.5%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					



【釜石構想区域】

（一般病床患者流出入）
（+4.4%）

	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年			2025年		
	2015実績	2025年必要数に対する比	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2023実績	2015年に対する比	2015年との差	2025見込量	2025必要数	見込み／必要数
合計	741	135%	775	791	775	791	775	791	107%	+50	699	549	127%
高度急性期		0%	0	0	0	0	0		－	－		31	0%
急性期	340	262%	272	288	272	288	224	240	71%	▲100	196	130	151%
回復期	119	72%	169	169	169	169	217	217	182%	+98	169	165	102%
慢性期	282	126%	334	334	334	334	334	334	118%	+52	334	223	150%
（報告率）	100.0%		85.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					

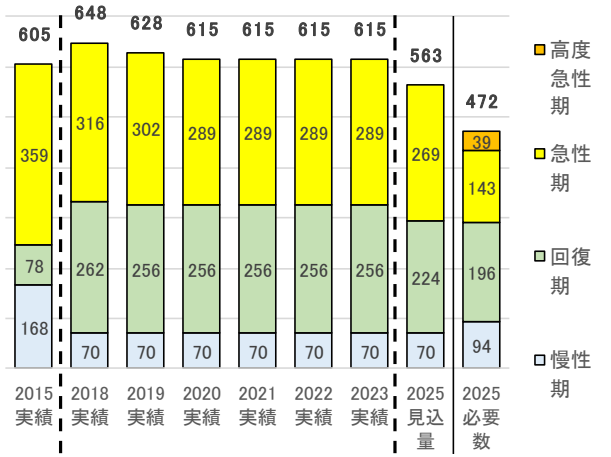


【参考】病床機能報告上の病床数及び地域医療構想における2025年の必要病床数

【宮古構想区域】

（一般病床患者流出入）
（▲38.3%）

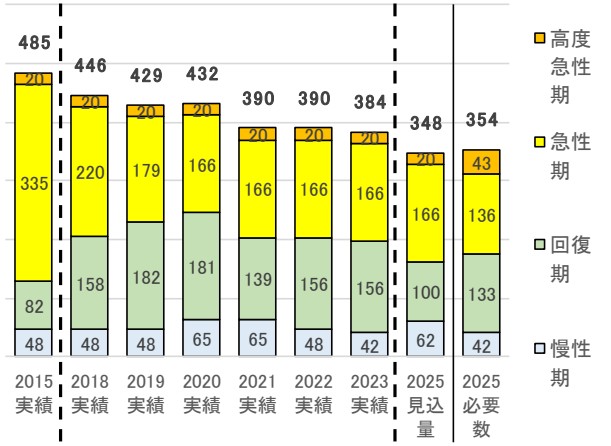
	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年			2025年		
	2015実績	2025年必要数に対する比	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2023実績	2015年に対する比	2015年との差	2025見込量	2025必要数	見込み／必要数
合計	605	128%	648	628	615	615	615	615	102%	+10	563	472	119%
高度急性期		0%	0	0	0	0	0		−	−		39	0%
急性期	359	251%	316	302	289	289	289	289	81%	▲70	269	143	188%
回復期	78	40%	262	256	256	256	256	256	328%	+178	224	196	114%
慢性期	168	179%	70	70	70	70	70	70	42%	▲98	70	94	74%
（報告率）	90.0%		90.0%	100.0%	100.0%	87.5%	100.0%	100.0%					



【久慈構想区域】

（一般病床患者流出入）
（▲32.9%）

	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年			2025年		
	2015実績	2025年必要数に対する比	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2023実績	2015年に対する比	2015年との差	2025見込量	2025必要数	見込み／必要数
合計	485	137%	446	429	432	390	390	384	79%	▲101	348	354	98%
高度急性期	20	47%	20	20	20	20	20	20	100%	−	20	43	47%
急性期	335	246%	220	179	166	166	166	166	50%	▲169	166	136	122%
回復期	82	62%	158	182	181	139	156	156	190%	+74	100	133	75%
慢性期	48	114%	48	48	65	65	48	42	88%	▲6	62	42	148%
（報告率）	85.7%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					

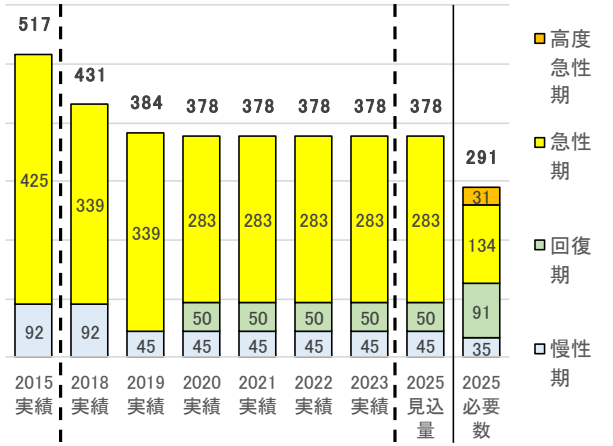


岩手県

【二戸構想区域】

（一般病床患者流出入）
（▲29.0%）

	2015年		2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年			2025年		
	2015実績	2025年必要数に対する比	2018実績	2019実績	2020実績	2021実績	2022実績	2023実績	2015年に対する比	2015年との差	2025見込量	2025必要数	見込み／必要数
合計	517	178%	431	384	378	378	378	378	73%	▲139	378	291	130%
高度急性期		0%	0	0	0	0	0		−	−		31	0%
急性期	425	317%	339	339	283	283	283	283	67%	▲142	283	134	211%
回復期		0%	0	0	50	50	50	50	−	+50	50	91	55%
慢性期	92	263%	92	45	45	45	45	45	49%	▲47	45	35	129%
（報告率）	100.0%		100.0%	88.9%	100.0%	90.0%	100.0%	88.9%					



岩手県

＜スケジュール＞

日　程	内　容
令和６年８月26日	○ 令和６年度第１回両磐保健医療圏の地域医療を守る懇談会 推進区域の設定について
12月10日	○ 令和６年度第１回部会 区域対応方針（素案）について
12月下旬 ～１月	○ 令和６年度第２回部会 区域対応方針（修正案）について
令和７年２月４日	○ 令和６年度第２回両磐保健医療圏の地域医療を守る懇談会 区域対応方針（案）の協議
令和７年度～ （予定）	○ 区域対応方針にもとづく取組開始

5　推進区域の設定について（両磐構想区域）

岩手県

＜両磐構想区域の区域対応方針＞

岩手県地域医療構想により目指すべき将来像

患者のニーズに応じて高度急性期から、急性期、回復期、慢性期、在宅医療・介護に至るまで一連のサービスが切れ目なく、また過不足なく提供される体制を確保するため、各構想区域において病床機能の分化と連携を推進し、効率的で質の高い医療提供体制を構築すること。

これまでの取組(2016～)

- 地域医療構想調整会議の開催
- 具体的対応方針の策定・見直しに係る議論
- 病床削減を伴う病床機能再編を行う医療機関への支援

- 病床機能報告や具体的対応方針により、地域医療構想の進捗を確認

国による推進区域の設定(2024～)

- 地域医療構想で定めている2025年の機能別の必要病床数に対し、両磐構想区域の**急性期病床数が県内で最も過剰**

必要量 278床　に対して　見込量 611床

構想区域の対応方針

限られた医療資源のもと、病床機能の分化と連携を推進し、効率的で質の高い医療提供体制を構築
→　病床単位で医療機能を把握し、地域で現状や将来の医療需要を踏まえた医療機関の役割分担に係る議論を行う。

必要量との乖離に対する取組

- 医療機関に対し、病棟内で最も多くの割合を占める患者に相当する機能を報告するよう周知
- 病棟内で急性期と回復期が同数の医療機関に対し、回復期で報告するよう依頼
- 病床減少を伴う病床機能再編に取り組む医療機関に対し、財政的支援を実施

新たな地域医療構想に向けて

現行の地域医療構想の取組と並行して、国の検討状況を注視しながら新たな地域医療構想の策定に向けたデータ収集、分析等